

平塚市新庁舎建設基本構想を策定する際に実施したパブリックコメントでお寄せいただいたご意見の対応について  
基本設計・建築設計で検討すると回答したものにつきまして、掲載しています。

項 目	基本構想 ページ	お寄せいただいたご意見	基本設計における市の考え方
2 新庁舎建設の基本的考え方と導入する機能			
2.1 新庁舎建設の基本的考え方 (1) 市民に開かれ親しまれる庁舎	4	<p>平塚の文化遺産は少ない、昭和も遠くなるに当たり、その時代の文化遺産となりうる建物は部分的にも残すべきであろう。</p> <p>本庁舎4階部分の建物は和の文化が盛り込まれ、打ち出しコンクリート造りの戦後時代を反映する建物(ル・コルビジエなど世界の名建築家が残された時代)です。行政を預るものカルチャーが無いと文化が育たない。せめて4階のファサード(外観)部分は残し、昭和にあった建物として後世に伝えたいかがでしょうか。それは設計条件で残せば、設計者はそれは巧みに取り込む工夫をするものです。社会的にはむしろ話題性を提供するでしょう。さすが平塚のカルチャーと見直されるはずはです。</p> <p>議事堂外壁の壁面建築は彫刻家小野譲氏の作品「静と動」であると聞いております。残す価値のある建物であると考えますが、専門家の調査をお願い致します。戦後のモダニズム建築物の代表としての保存を望みます。活用は小ホールとしての再生が可能と思えます。</p> <p>議事堂の壁面は芸術作品と聞いています。この作品を新庁舎建設にあたってどのように考えていますか。できれば、新庁舎建設の設計に組み入れて保存してほしいです。</p>	<p>新庁舎は、現在の敷地で現庁舎を使用しながら建て替えとなること、分散している部署を集積することなどから、必要な面積を確保するためには敷地全体を活用した計画としています。このため、現在の庁舎や議事堂は、形を変え記憶に残る方法で保存(記録保存)していきます。</p> <p>議事堂外壁のコンクリート製彫刻は、片面で長さ約36メートル、高さ約9メートルの大きさで総重量も200トンを超えております。建設後の経年劣化、保存スペースや保存費用の確保など現形のままの保存は困難と考えます。</p> <p>しかし、40年を超える歴史を持ち現庁舎の特徴的な部分であることから、形を変え記憶に残る方法で保存(記録保存)していきます。</p>
(2) 人と地球環境にやさしい庁舎	5	<p>新市庁舎内に喫煙所を設置してください。平成17年3月定例会で「分煙ルールの確立に基づく街づくりについての請願」が採択されています。適切な喫煙所が設置されることにより、新市庁舎の美化、マナー向上、未成年者喫煙防止対策などにつながると考えます。</p> <p>いつの時代かあたり前になる環境配慮とは、太陽熱利用、風力発電、雨水利用、温暖化対策としての建物緑被です。</p> <p>環境に配慮した基本方針に賛同いたします。是非とも大規模な屋上緑化を積極的に推進願いたいです。また、太陽光発電等、自然エネルギーの導入も積極的に進めてもらいたいです。</p> <p>省エネ、省資源対策をメインにした庁舎を建設してほしいです。太陽光発電、クールビル庁舎、屋上緑化、雨水活用など、あらゆる手法を取り入れてほしいです。</p> <p>自然エネルギー同様に高効率空調機・給湯機器の導入を検討していただけないでしょうか。</p>	<p>喫煙場所は、「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」を守り、設置コストや運営コストを考慮し、屋外の適切な位置に設けます。</p> <p>太陽光発電や雨水利用など自然エネルギーと資源を有効活用する庁舎とします。また、日射遮蔽効果のあるメンテナンス用バルコニーの設置やエコポイドなどで空調負荷の低減を図ります。</p> <p>省エネルギー化を図るため、高効率な設備を積極的に採用します。</p>

項目	基本構想 ページ	お寄せいただいたご意見	基本設計における市の考え方
(3)市民の安心・安全な暮らしを支える拠点としての庁舎	5	蓄熱式空調や電気式給湯器の導入を検討していただけないでしょうか。 貯湯タンクのお湯は非常災害時の生活用水として使えます。蓄熱槽の水を非常災害時の消防用水としても活用できます。	用途、使いやすさ、使用時間、利便性等に配慮し、複数の空調設備を採用します。給湯設備は局所給湯を基本に、用途に合った設備を採用します。
2.2 新庁舎に導入する機能 (2) 基本機能 イ 執務機能	7	部長室の設置は不要と考えます。職務は役職に関係なく全職員がオープンに遂行すべきであります。ただし、各課に検討テーブル、各部に接室のような個室は設けるべきと考えます。	執務室はオープンフロアを基本とし、部長室など必要な場所には、間仕切りをします。また、打合せスペースを確保します。
エ 防災機能	8	地震対策として建物を免震化することを薦めます。何回も提言していますが、耐震建物はやはり部分的には破壊され、2次部材の損傷は被災後の維持費に重くのしかかるし、しばらくは業務にも差し支えます。 提言した4階本庁舎を部分的に残すには制震技術により靱性を維持するべきでしょう。免震は高層建物(15階以上)でしたら、在来工法とくらべコストは変わらないと思います。(現実には十数年前阪神大震災以前に2物件商品化しました。現在平塚の高層マンションに使われているのもコストバランスのメリットがあるからでしょう。) また、免震の維持管理スペースが必要ですがこの部分に駐車場を手当すれば割高にならずにすむのです。 何より近頃地震の被害を受けた後でも大きな余震が続き精神的不安は拭いきれません。現実には、長岡でも栗原地区でも免震装置を施した施設は何ら問題なく安心してすぐ施設は運用されていました。	大規模地震後、直ちに災害対策本部として機能を発揮できることや通常業務の早期再開のためにも、免震構造を採用します。
オ 市民機能	8	市役所に来る市民、市外の方が平塚を感じるができるスペースにしてほしいです。ロビーに壁面を飾る陶壁等の芸術作品を市民の協同制作で飾りたいです。  交流スペースとして、例えば、「市民プラザ」「ひらつか市民活動センター」等既往施設があります。市役所庁舎の役割は、窓口・執務・議会・防災・施設管理に特化して、他の施設との役割分担を明確にすべきであり、これは、分散化にはあたりません。  交流スペースとして、食堂や喫茶コーナーの設置を指しますとありますが、職員食堂以外は特段必要ないのではないですか。  市役所正面玄関のロビーでなくても市民がくつろげる場所はあるはずで、なければ市役所庁舎以外の場所に設けることが大切です。  交流イベントなどの利用は他の施設で行うべき、それによって、駐車スペースの拡大も図ることができます。	屋上に緊急用ヘリコプターがホバリング(空中で停止飛行)する場所として、緊急救助用スペースを確保します。  市民が気軽に訪れることができる「公園のような庁舎」として、メインアプローチ側に多目的スペースを配置して、八幡山公園の緑を身近に感じられる居心地の良い空間を設けています。  「市民プラザ」や「ひらつか市民活動センター」などの機能を持った交流スペースは計画していません。  食堂は、来庁者と職員が利用できる計画とします。  玄関ロビーは、来庁者が目的とする窓口へスムーズに移動できるよう、南北に貫くパッセージと一体に計画しています。  南広場、東広場及び2階の屋上広場などは、市民が気軽に訪れ新庁舎に親しみがもてる公園的な広場とします。これらの広場は1階の多目的スペースなどと一体的につながり、市民の交流スペースとしてして様々な利用ができます。

項 目	基本構想 ページ	お寄せいただいたご意見	基本設計における市の考え方
3 国合同庁舎との一体的整備			
	9	市庁舎と国合同庁舎との合築が不可能と仮定すると、2棟の建物が限られた敷地に建設されることになり、地上空間を減少させ景観上マイナスとならないですか。	市庁舎と国庁舎は、一体（1棟）で整備します。建物形態は、周囲の市街地環境の維持に十分配慮した計画とします。
5 敷地利用と周辺への配慮			
5.2 周辺への配慮 (1) 公共施設ゾーンの位置づけ	17	見附台公園跡地計画においても建物を免震化することを薦めます。この一角は防災拠点となるので、危機管理センター、緊急医療センター等のアネックスが必要で免震人工地盤を形成すべきなのです。備蓄センター、非常電源、中水活用など新庁舎と関連付けて造るべきです。新庁舎、見附台防災拠点は放して考えるべき施設ではありません。連帯として機能を損なわないように造る事で行くべきでしょう。これらは見附台跡地利用市民提言をよく理解して下さい。	新庁舎は、地震災害に対しては免震構造の採用により、また、風水害等の災害に対しては電気室を高層部に配置することにより災害直後でも庁舎としての必要な機能を損なうことはないと考えています。万が一利用できない場合は、平塚市地域防災計画に基づいて対応します。
6 実現のための方策			
6.1 建設費用	23	<p>地下は建設費が高く、水没の恐れがあるので、地下の施設は作らないで屋上に持っていく方がよいです。</p> <p>100億円で建設して、何でこんなものを造ったといわれないうにしてほしいです。今の庁舎も建築してから、何年かたったら庁舎が狭くて、分庁舎を建設することになってしまいました。過ちを繰り返さないようにしてほしいです。</p>	<p>地階は、建物を維持管理する機械室など必要最小限とします。</p> <p>高いレベルの庁舎機能を長く維持できる計画とします。高い耐久性と防災拠点としての高い安全性を備え、利用変化にも柔軟に対応できる自在性と維持管理の容易性を有し、庁舎としての機能を長く維持できるように計画します。</p>